

児童発達支援事業に係る自己評価結果の公表

公表日 令和 3年10月11日

広島県立福山若草園 福山若草育成園

区分	チェック項目	現状評価（実施状況・工夫点等）	保護者の評価				改善目標
			はい	どちらとも いえない	いいえ	わから ない	
環境 ・ 体制 整備	① 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	新型コロナウイルス感染症対応のため密にならないスペースが必要です。登園人数が多い日は活動内容によっては2班に分かれて行ったりもしています。	16				
	② 職員の配置数や専門性は適切であるか	職員の配置数については、保育士1名の加配体制で行っています。	12	1	2		・医療ケアのある子もいるためフリーで動ける方が数名いると助かります。 ・保育内容や一部の行事中には難しいこともあります。フリーで動ける職員がいるようにします。
	③ 生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	使いやすい空間、構造、設備での設計を行っています。表示等で案内をしています。	15	1			・通園側の駐車場のスペースが狭いと思う。乗車を考え横幅を広くしてもらえると助かる。 ・駐車スペースを広くとれるか業者に相談してみます。現時点では乗り降りが難しい場合は玄関前等広い場所で乗り降りしていただくよう、お願いいたします。
	④ 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子どもたちの活動に合わせた空間となっているか	毎日、清掃と消毒を実施しています。	14	1		1	・いつも清潔で気持ちよく安心している。 ・感染対策をとっていただき感謝している。通えることが幸せだと思う。 ・感染症の事もあり、毎日清掃と消毒を行うようにいたします。
保護者への説明責任等	⑤ 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	平成30年度から実施し、業務の改善を図っております。					

区分	チェック項目	現状評価（実施状況・工夫点等）	保護者の評価				改善目標	
			はい	どちらとも いえない	いいえ	わから ない		16人/21人（回収率76%）
保護者への説明責任等	⑥ 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	平成30年度から評価を実施し、評価結果に基づき会議を行い、ホームページで公開しています。						
	⑦ 第三者評価による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	第三者評価による外部評価を行い、業務改善を図っています。						
	⑧ 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	感染症の流行のため外部研修はオンラインによる研修を受けるようにしております。園内での研修はビデオ研修を取り入れて行っています。						
	⑨ アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	半年に一度はアセスメントを行い、支援計画を作成しています。	13	1		2	<ul style="list-style-type: none"> ・丁寧に説明してもらっている。 ・計画はあっているが活動があっているかは別物。 ・結構ハードに動くので1日いると親が疲れるとよく聞く。 ・個々の発達にあった活動ができたらと思うのが現実的に難しい部分もあると思うので悩ましい。いろんなアイデアを出し合って個々でも取り組める療育をしていきたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・同じ活動であっても子供さんによってやり方を変えたり、少しでも主体的に参加できるように工夫をしていきたいと思います。障害や発達の違いがあるお子様が保育に参加されることで活動が難しく思えることもあるかと思いますが、お友達といっしょに過ごす楽しさが伝えられるように職員もしっかり声をかけて行きます。保護者様もご協力お願いいたします。 ・また、午後の母子分離保育も積極的にご利用していただくことで個別保育をしていきたいと思っています。
	⑩ 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントをしている	アセスメントツールを使用しています。						

区分	チェック項目	現状評価（実施状況・工夫点等）	保護者の評価				改善目標	
			はい	どちらとも いえない	いいえ	わから ない		16人/21人（回収率76%）
保護者への説明責任等	⑪ 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	支援内容は具体的に記入するように心がけております。	12	2		2		
	⑫ 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか	理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、看護師、保育士が専門性をもって分析したうえで、個別支援計画を作成しています。						
	⑬ 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	会議で個別支援計画を共有し支援しています。	12	2		1		
	⑭ 活動プログラムの立案をチームで行っている	役割分担をし、チームで行っています。						
	⑮ 活動プログラムが固定化しないように工夫されているか	対象のお子さんの実態やその日の状況に応じて活動するようにしています。	13	2		1	<ul style="list-style-type: none"> ・最近特に目新しいものや毎年恒例の行事でも違ったアプローチを取り組んでもらっている。 ・制作活動とか結局親ばかりする活動は必要なのか不明。 	<ul style="list-style-type: none"> ・制作活動については。一人では難しくても一緒に行くことで何かが出来上がるという体験をしてもらいと思っています。少しでも子供さんの手を取り一緒にできることを組み込むようにしていきます
	⑯ 支援開始前には職員間で適宜打ち合わせをし、支援の内容や役割分担について確認している	毎日、打ち合わせを行っています。						
	⑰ 支援終了後には、職員間で適宜打ち合わせをし、支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	毎日、支援の振り返りも行っていきます。						
	⑱ 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	毎日、日誌を記録しています。						

区分	チェック項目	現状評価（実施状況・工夫点等）	保護者の評価				改善目標
			はい	どちらとも いえない	いいえ	わから ない	
保護者への説明責任等	⑱ 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	半期に一度、モニタリングを行っています。					
保護者との連携	⑲ 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	可能な限り児童発達支援管理責任者が参加するようにしています。					
	⑳ 母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	広島県東部幼児通園療育機関協議会や福山市障がい者総合支援協議会発達支援部会、福山地域児童発達支援事業連絡協議会に参加し連携しています。					
	㉑ （医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合）地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	広島県東部幼児通園療育機関協議会や福山市障がい者総合支援協議会発達支援部会、福山地域児童発達支援事業連絡協議会に参加し連携しています。					
	㉒ （医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合）子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	緊急時診ていただけるよう、当園の小児科医と各主治医が連絡体制を整えています。					
	㉓ 移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚部）等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	見学に来てもらったり、電話等で連携をとっています。					
	㉔ 移行支援として、小学校や特別支援学校（小学部）との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	今年度は感染症流行のため、学校見学は個人で参加していただきました。					

区分	チェック項目	現状評価（実施状況・工夫点等）	保護者の評価				改善目標	
			はい	どちらとも いえない	いいえ	わから ない		16人/21人（回収率76%）
保護者との連携	②⑥ 他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	広島県東部幼児通園療育機関協議会や福山市障がい者総合支援協議会発達支援部会、福山地域児童発達支援事業連絡協議会に参加し連携しています。						
	②⑦ 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	今年度は感染症の流行があり、園外の方との交流はできていません。	1	1	10	4	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナの影響で難しい部分があるかと思う。 ・なくていい。 ・あるといいなと思う。 	・現在は感染症の流行のため難しいですが、今後は保護者様のご意見を参考に考えさせていただきたいと思います。
	②⑧ 自立支援協議会等へ積極的に参加している	毎回参加しています。						
	②⑨ 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	日頃から子どもさんの状況を保護者様と伝えあうようにしています。						
	③⑩ 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング）の支援を行っている	園内で行っているペアレントトレーニングの情報提供を行いました。	7	4	1	4	<ul style="list-style-type: none"> ・いろいろな提案をしてもらっている。 ・参加したことがありません。 	・発達障害のペアレントトレーニングについては1年に1回募集しております。次回募集の時は案内させていただきます。
	③⑪ 運営規定、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	入園時説明し、掲示板にも掲示しています。						
	③⑫ 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援の同意を得ている	アセスメントの面談時は、いつも児童発達支援計画を示しながら行い、保護者様から同意を得ています。						

区分	チェック項目	現状評価（実施状況・工夫点等）	保護者の評価				改善目標	
			はい	どちらとも いえない	いいえ	わから ない		16人/21人（回収率76%）
保護者との連携	③③ 日ごろから子どもの状況を保護者と伝えあい、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができているか	子どもさんの健康や発達の状況、課題について共通理解ができるように努めています。	13	1	1	1	・各々の理解に溝を感じる。	・保護者様としっかりコミュニケーションをとらせていただき対応していきます。
	③④ 定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	個別支援計画作成、モニタリング時に面談を行っています。	14			1	・年2回ほどなのでもう少し多くてもいいかと思う。	・必要に応じて随時お話できるようにいたします。
	③⑤ 保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	今年度も感染症の流行があり、保護者様に集まっただけの状況が作れていません。	7	4	2	3	・保護者会の役員さんが適宜声掛けしてくださっている。 ・コロナの影響で難しい部分があるかと思う。 ・開催したい。	中々、保護者会が開催できません。申し訳ありませんがもうしばらくご協力お願いいたします。
	③⑥ 子どもや保護者からの相談や申し入れについて、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申し入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	保護会でのアンケート結果に基づき役員の方との話し合いを行いました。	14	1	1			迅速に対応できることはさせていただきます。
	③⑦ 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	そのように努力しています。	14	1		1		
	③⑧ 定期的に、会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価結果を子どもや保護者に対して発信しているか	行事予定や活動予定表、お知らせ等を掲載したおたよりを毎月発行しています。 自己評価結果はホームページで公表しています。	12	2		2		
	③⑨ 個人情報の取り扱いに十分注意されているか	そのように努めています。	14	2				

区分	チェック項目	現状評価（実施状況・工夫点等）	保護者の評価				改善目標	
			はい	どちらとも いえない	いいえ	わから ない		16人/21人（回収率76%）
保護者との連携	④⑩ 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	意思の疎通や情報伝達のための配慮を心掛けています。						
	④⑪ 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた運営を図っている	今年度も感染症の流行のため、地域の方との交流を行うような行事は中止となりました。						
非常時等の対応	④⑫ 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか	各種マニュアルを母子控え室に掲示しております。	15			1		
	④⑬ 非常災害の発生に備え、定期的に避難訓練が行われているか	火災に対する避難訓練を毎月、水害に対する避難訓練を年1回行っています。	15			1		
	④⑭ 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認している	フェイスシートに記入してもらったり、母子手帳を見せてもらったり、面談等で確認しています。						
	④⑮ 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	対応しています。						
	④⑯ ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	毎月、医療安全管理委員会に提出されたインシデント報告書とヒヤリハット報告書を全員に回覧して周知しています。						
	④⑰ 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	虐待防止研修は職員全員が受けています。						

区分	チェック項目	現状評価（実施状況・工夫点等）	保護者の評価				改善目標	
			はい	どちらとも いえない	いいえ	わから ない		
非常時等の対応	④⑧ どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	保護者同伴なので、安全や姿勢保持のために必要なベルトなどは保護者様に聞きながら行っています。個別支援計画書にも記載しています。						
満足度	④⑨ 子どもは通所を楽しみにしているか		15			1	<ul style="list-style-type: none"> ・移動や活動の動きが本人、母共に負担に感じる。 ・「若草園にいくよー」とこえかけするとニコニコ笑顔になる。 ・喜んでいます。 	・子供さんによってやり方を変えたり、少しでも主体的に参加できるよう工夫をしていきたいと思います。
	⑤⑩ 事業所の支援に満足しているか		14		1	1	<ul style="list-style-type: none"> ・支援をしようとする姿勢はありますがたいが本人の求めているものとなっているかが不明である。 ・親子ともに支えてもらっている。 ・療育、リハビリの場だけでなく親同士の交流やサポートしてくださる職員の方との情報共有、子供たちの支援や日常生活に必要な知識を身につけるような通園がさらに有意義な物となるよう願います。 	<ul style="list-style-type: none"> ・障害の種別や発達の違いがあるお子様が保育に参加されることで難しく思えることもあるかと思えます。同じ活動であっても子供さんによってやり方を変えたり、少しでも主体的に参加できるよう工夫をしていきたいと思えます。 ・例年のように合同行事の後に保護者様に集まっていただくことが難しく、なかなか交流の場が作れておりません。必要な情報共有など別の方法でできるよう検討させていただきます。